

経済社会学会年報第XVIII号目次

■第31回大会共通論題 「官僚制—理論と現実」
 マックスウェーバーにおける官僚制の理論と現実
 松代報告へのコメント
 費用情報と官庁間競争
 岸本報告へのコメント
 日本の政策決定における官僚主導

松代和郎……3
 村上綱実……10
 岸本哲也……13
 谷口洋志……20
 加藤 寛……23

■準共通論題・自由論題要旨
 脱官僚制—革新的組織の本質と特性
 経済倫理学から見た日本の官僚制の諸問題
 アルトゥール・ウッツの経済倫理学
 高齢者福祉とフェミニズム—高齢者人生設計を中心に
 介護費の社会化をめぐる一視点—民間保険との関連
 韓国「財閥」の歴史的・典型的特質
 昭和恐慌期の地主制と農村—香川県におけるその変容の諸局面
 「補完性原則」再考—福祉国家の限界をめぐる
 G. ヴァイサー政策論の構造的特質
 環境と都市化—経済社会をいかに定位すべきか

唐澤昌敬……31
 大野正英……34
 島本美智男……37
 福井浅子……39
 原田克己……42
 菊島 啓……47
 辻 唯之……50
 小林大造……52
 豊山宗洋……55
 瀬川 肇……58

■投稿論文A

Ph. ヘルダー・ドルナイヒの経済システム論
 わが国企業における研究者・技術者の育成
 配分的正義論の射程—アリストテレスとトマス・アクィナスの正義論についての一考察
 W. レプケの経済・社会思想
 アダム・スミスにおける歴史分析の性格

永合位行……61
 野口晴利……68
 佐々木巨……79
 平田謙輔……88
 西井徹幸……98

■投稿論文B

近代化の終局としてのスタグフレーション—転換点理論の再評価
 雑散的な製品特性集合における比較文脈と消費者の選好順序
 中小機械工業のハイテク技術導入プロセスにみる熟練の変容—大田区地域ネットワークのなかのイノベーション
 経済倫理学の相関科学的研究—P. コスロフスキーの企図を検討する
 高度情報化時代における組織間関係

尾上正人……108
 後藤 隆……119
 砂川和範……126
 橋本 努……138
 朴 容寛……150

■書評

石原義盛 「社会科学としての経済学」
 伊東真理子 「たのしく学ぶ高齢者福祉」
 金指 基 「シュンペーター再考」
 富永健一 「行為と社会システムの理論」
 長尾周也 「プロフェSSIONナルと組織」
 福田敏浩 「体制転換の経済政策」
 フィリス・ディーン 「経済認識の歩み」
 リチャード・T・ディジョージ 「ビジネス・エシックス」
 チャールズ・ヘクシャー 「ホワイトカラー・ブルース」

鉢野正樹……161
 武井 昭……162
 東條隆進……163
 田村正勝……165
 梅澤 隆……167
 家本博一……169
 上宮正一郎……170
 梅津光弘……171
 阿部 健……174

■学会大会プログラム……178
 ■学会会則……180
 ■編集後記……182

経済社会学会年報XVIII

共通論題「官僚制—理論と現実」

1996

経済社会学会編
 現代書館発売

編集後記

■今号から、編集方針もスタイルも一新した「新・年報」になった。編集を担当した私自身、このような大改革がこれだけ速やかに実現するとは思わなかった。驚きである。たぶん色々ご批判もあるだろうが、今後の編集委員は、それぞれその信念にしたがって、独自の編集方針を立て、それに従った雑誌作りをしていけばいいのではないだろうか。経済社会学会自体、さまざまな試行を繰り返す学問なのだから、年報もまた、いろいろと変わっていけばいいだろう。

毎度反省することだが、投稿論文のレフェリーによる審査はどうしても時間がかかってしまう。そのため、他の原稿はいつでも入稿できる状態にあるのに、全体が遅れてしまう。次号からは、投稿論文の締切りを早くすべきだ。(この方針に従い、越権行為ではあるが、次号の原稿募集を、ニューズレターとこの年報に載せてしまった) (M)

■書評は、対象図書決定に時間がかかるために、遅くなってしまいます。これを何とかしなければならぬ。この号から、書評対象図書を一気に増加させたが、残念なことに期限までに3本の書評が提出されず、掲載できなかった。結果的にこれまでとそれほど変わらない印象になってしまったかもしれない。書評の充実を望まれている会員の方々にはお詫び申し上げます。(H)

■今年から年報のスタイルが大幅に変わりました。レフェリー制を導入したことは、学会の水準を高め、投稿を募る機会が広がったことを意味します。編集を担当して思うことは、期限を厳守されない方が多いということです。サラリーマンの経験のある小生としましては、どうもルーズに思えてならないのですが……。なお、実際に編集を担当する委員が少なく、現在作業量が増えています。皆様のご理解とご協力を得て、すばらしい年報にしたいと思いますので、今後ともよろしく願います。8月盛夏。(On)

経済社会学会 年報編集委員会

間々田孝夫(委員長)/鉢野正樹/居安正/園田茂人/愚田守雄/桑原武夫/保坂俊司/大西秀典/竹下公視

経済社会学会年報 XVIII

定価3500円+税

1996年8月31日 初版第1刷発行

編 者 経済社会学会
〒277 柏市光が丘2-1-1 麗澤大学国際経済学部4付
電話(0741)73-3004

編集者代表 間々田 孝 夫
発行者 富 永 健 一

発売所 株式会社 現代書館
〒101 東京都千代田区三崎町2-2-12
電話(03)3261-0778 振替 00120-3-83725

写 真 一 ツ 橋 電 植
印刷・製本 平 河 工 業 社

ISSN0918-3116